

[アンコーナ市（イタリア）・生駒市（日本）]

国際都市間協力プログラム

IUC-JAPAN

アクションプラン

持続可能な都市のためのロードマップ
国際都市間協力をベースとして



1. CITY OVERVIEWS: context and sustainable urban development challenge(s)

都市の概要：背景と持続可能な都市開発において直面している課題

EU City:	EU 都市
市の概要 (例. 人口統計、市の位置、主要産業、都市資産など)	
<p>マルケ州の州都アンコーナは、イタリアのアドリア海沿岸北部に位置しています。町は自然の港を保護する肘の形をした岬にあります。紀元前 387 年に都市を設立したシラクエースのドーリア式ギリシャ人は、この岬の形状に気付き、この理由から「エルボー」を意味する新しい都市「Αγκών」と呼ばれました。アンコーナは、その起源から、東西両方に海に覆われた「ドーリアの街」としても知られています。まちでは、太陽が海から昇って海に沈むのはこのためです。それは独特の美しさです。まちの本質は必然的にアドリア海につながっています。アンコーナ港は、乗客、貨物、漁業のための海域地域で、最も古く重要な港の 1 つです。</p> <p>アンコーナは何千年もの歴史にルーツがあり、何世紀にもわたる記念碑的な遺産があります。ギリシャの都市の兆候、ローマの港の遺跡、トラヤヌスがダチアの征服を祝ったアーチ、ルネッサンスの作品の存在、ヴァンヴィテッリの建築：このように、アンコーナは、多くのイタリアの都市と同様に、美しさの中にその歴史を築きました。</p> <p>アンコーナには 100,700 人の住民がいます。市の外国人人口は全体の 13% を占めています。これら 13,000 人の大部分と多くの外国人コミュニティは、2 つの近隣地域に集中しています。</p> <p>アンコーナは、経済的、文化的観点から見るとダイナミックで活気に満ちていますが、現在、他の多くのイタリアやヨーロッパの都市と同様に、社会、経済、環境の分野の変化に直面しています。アンコーナは、冶金および機械産業の集中と、伝統的な農業機械部門（石油および油力学的機械）のおかげで、マルケ州で最も工業化された地区です。また、市内にある伝統的な楽器地区は、ハイテクピーク（ビデオ通信）を備えた電子機器に関しても大きな再編を行っています。アンコーナ港は、新しく広大なヨット港のおかげもあり、大型で豪華なレジャークラフト（ヨット）の建設を請け負う民間造船業者を開発しています。さらに、衣料品および化学薬品産業も伝統的なセクターです。</p> <p>文化的構造と政策の観点から、アンコーナは重要な大学、自然公園、美術館、アートギャラリーを運営しています。最近には、2 つの建築上のアトラクションを復活させました：実質的に中断のない一連の展覧会の常設展示ポールになる候補である Mole Vanvitelliana と、マルケ地方で最高の 1 つである建築とオペラのための Muse Theatre です。アンコーナには国際空港があります。主要鉄道駅は地域の長距離高速列車に接続されています。海上では、クルーズツーリズムを含むアドリア海およびイオニア盆地全体（クロアチア、モンテネグロ、アルバニア、ギリシャ、トルコ）に接続しています。</p> <p>最後に、丘陵と山岳地帯のおかげで、この都市は農家と古いクラスター化された素晴らしい遺産を誇り、観光客に環境に優しい開発の機会を提供しています。</p>	

国際的な点に関しては、アンコーナ市はアドリア海とイオニア地域における政治的関連性を高め、その結果、アドリア海イオニアイニシアティブ (IAI)、アドリア海イオニア都市フォーラム (FAIC)、アドリア海およびイオニア商工会議所のフォーラム

(ForumAIC) およびアドリア海およびイオニア大学のフォーラム (UNIADRION) の議席に選ばれています。市の国際的な取り組みは、マルケ州の政治的努力とともに、欧州委員会によるアドリア海およびイオニア地域のための欧州戦略 (EUSAIR) の承認において重要な役割を果たしました。

特に、アンコーナは、FAIC (アドリアおよびイオニア 8 か国 (イタリア、クロアチア、ギリシャ、アルバニア、モンテネグロ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、セルビア、スロベニア) と 48 の地方自治体のネットワーク) 事務局の設立に貢献し、現在、管理しています。FAIC は、アドリア海イオニア地域に関する EU 戦略とも整合性のある、文化、若者、観光、環境、経済、社会問題、輸送などの分野での協力と結束を促進することを目指しています。

さらに、アンコーナ市について

- ・セントニコラス専用の新しいヨーロッパ文化ルートの作成に関与しています。
- ・イタリアの先導都市ネットワークに属します。
- ・沿岸の環境保護に従事する受賞都市のブルーフラッグネットワークに属します。
- ・マルケ地域 ERDF / ESF ROP 持続可能な都市開発戦略内の統合領土投資「ウォーターフロント 3.0」を推進し、リードしています。
- ・経済、文化、観光の海事活動を促進するために、漁業地域行動グループ「Marche Centro」 (Marche Region / EFF) を推進し、主導しています。
- ・欧州政策の分野で協力している地元団体のグループに基づいた革新的なガバナンスツールである欧州政策関連サービスを率いています。
- ・アンコーナ州の領土と一致して、広域アプローチですべての政策を計画することを目的とした中部アドリア海都市圏 (AMMA) の戦略を推進し、作成しました。
- ・FAIC、ICLEI、MEDCITIES、Health Cities WHO Network、CIVITAS、Europe Direct Regione Marche、TECLA、Agenda21 Network のアクティブメンバー
- ・多数の EU プロジェクトの主要パートナー

IUC プログラムを通じて取り組むことを計画している持続可能な都市開発の課題 (可能であれば、これらの課題に関連する既存の戦略とポリシーの要約を含めて)

a) 都市および気候政策

- クリーンエネルギーと気候に優しい都市政策
- 持続可能な都市再生戦略
- 革新的な廃棄物管理

b) 社会的包摂

- 都市生活におけるすべての社会的弱者 (特に高齢者と移住者) の包摂とエンパワーメント
- 環境的な持続可能性と包摂的観光開発の促進
- 市民と自発的な団体の関与とエンパワーメント

JAPAN City:生駒市

日本都市

市の概要 (例. 人口統計、市の位置、主要産業、都市資産など)

生駒市は、奈良県の北西部に位置し、大阪府と京都府に接する人口約 12 万人、面積約 53km²の都市である。

大都市へのアクセスが良いという好条件のため大規模住宅開発が進み、1990 年代まで人口は急速に増加し、質の高い住宅都市として発展してきた。

住宅都市として発展した多くの都市と同様に、人口 1 人あたりの事業所数は少なく、茶釜等の製造などの伝統産業のほかは目立った産業は見られない。



本市の特徴として、大都市近郊にありながら、生駒山や矢田丘陵など緑豊かな自然環境が身近にあることがあげられる。自然に恵まれた居住環境を持つことが、まちの魅力であり財産となっている。



市の伝統工芸品 茶釜

もう一つの特徴として、長年企業等で勤務しリタイアした後のシルバー世代をはじめとして、高度なスキルやノウハウを持った市民が多いことがあげられる。実際、これまでも行政の多分野で市民参画が見られるなど、市民の活動が活発で、市民力が高いということが最大の財産になっている。



生駒山のふもとに広がる住宅都市



自然豊かな生駒の景色

IUCプログラムを通じて取り組むことを計画している持続可能な都市開発の課題
(可能であれば、これらの課題に関連する既存の戦略とポリシーの要約を含めて)

これまで順調に人口を増やし、住宅都市として発展してきた本市であるが、2013年11月をピークに人口減少に転じており、今後も少子高齢化による人口減少が進むとことが見込まれる。

目立った産業が見られない本市では、法人税収入の割合は少なく、歳入の多くは市民からの住民税・固定資産税に頼った財政構造になっている。

今後は、インフラの老朽化や社会保障費などのコストが増大することは必至であることから、人口減少に歯止めをかけ、税収入を確保する必要がある。

このような状況下で、本市は「生駒市総合計画」や、その他の分野別計画を策定し、快適で住みよいまちづくりを進めているが、社会福祉、子育て、環境、観光などあらゆる分野での施策を一層充実させ、すべての人にとって住みやすいまちであるとともに、多くの人がシビックプライドを持ち、いつまでもここに住み続けたいと思われるまちになること、まちの魅力を発信することにより市外からの転入を促進することが、持続可能なまちづくりとして求められる。

2. AREA(s) of COOPERATION: 協力分野

IUCプログラムにおいてEU都市と合意した協力分野について、簡潔に記載してください。

Title of the Partnership Agreement	<p><i>協力合意文書の標題</i> Partnership Agreement IUC City-to-City Cooperation Program</p>
------------------------------------	--

Date of signature:	サインの日付 2018年10月3日
Signatory Cities:	EU City: EU都市の名 Ancona City JAPAN City: 日本都市の名 Ikoma City

You may add other document(s) for cooperation signed between the two cities (e.g. protocol of cooperation or any equivalent document), if there are any. もし、これ以外に、両都市の協力協定などの文書があれば追記してください（たとえば、姉妹都市協定など）。

Cooperation Area: 協力分野	<p>List main theme/area of cooperation which is stated in the Partnership Agreement or other document(s) for cooperation between the two cities 協力協定文書、あるいはその他の文書で合意されている協力テーマを列挙してください。</p> <p>For example: smart city, social inclusion, building regeneration, climate change adaptation, sustainable waste management or citizen participation in urban processes, policies and projects たとえば、スマートシティ、社会的包摂、地球温暖化適応策、廃棄物処理、都市づくりにおける市民参加など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包摂的で持続可能な経済発展 ・クリーンエネルギー
Contribution to the EU Urban Agenda themes:	<p>EU city is requested to name the related European Urban Agenda theme (please see table below). EU都市は、EUアーバンアジェンダの12項目との関係を記載します。</p> <p>For example: sustainable use of land and nature-based solutions</p> <p>Integration of Migrants and Refugees (移民・難民の統合) Urban Poverty (都市貧困) Air Quality (大気質); Climate Adaptation (気候変動適応); Jobs & Skills in Local Economy (地域経済における雇用と技術) Sustainable Use of Land and Nature-Based Solutions (持続可能な都市利用と自然ベースの解決策); Urban Mobility (都市モビリティ)</p>
Focus:	<p>Please describe the focus of your theme/area of cooperation. 協力における優先課題をいくつか具体的に記載してください。</p> <p>For example: Waste management with special attention on citizen participation processes (i.e. governance issues, implementation of technological issues in administration regulations) Citizen's participation: models and experience exchange by using new technologies in public administration and in public services 例として住民参加による廃棄物管理などがあげられていますが、貴都市にとっての協力の優先課題を記載してください。</p>

<アンコーナ市>

アンコーナ市は、経済及び社会面でダイナミックかつ活力がある都市であるが、経済・社会・環境面での課題を抱えている。特に、高齢者や移民など社会の主流から取り残された社会グループに属する人たちの巻き込みとエンパワメントが課題となっている。

フォーカスする課題は、以下の通り。

- 社会的包摂の推進
- 持続可能な都市政策とクリーンエネルギーを着実にすること

<生駒市>

多くの都市に共通するように、本市でも少子高齢化による人口減少及びそれに伴う税収入減がすすむ中、インフラの老朽化や社会保障費などのコストが増大している。

また、市民からのニーズは多種多様化しているため、すべてのニーズに沿って対応することは行政だけでは困難になっており、市民の力を借りることは不可欠になっている。

このような状況で、包摂的で持続可能な経済発展を実現するため、以下の点を優先課題とする。

- ・市民との協働による取組の推進
- ・市の財政負担をできる限り軽減する

3. SPECIFIC OBJECTIVES 具体的な活動目的

Identify **up to three specific objectives** that your cities (EU and JAPAN cities) aims to reach. Repeat the table as many times as needed. 両都市（EU都市と日本都市）が達成しようとしている具体的な目的を3つまで挙げてください。記入欄はコピーして使用して下さい。The objective should be shared by the two cities although the activities to reach the objective might be implemented jointly or separately. 両者の取り組み内容は違っても目指す目的は共通だという理解で、両者共通の目的として記述して下さい。

<p>Specific Objective nº1: 目的その1</p>	<p>Name the first objective for your cities' participation in the IUC program. 貴都市と相手都市の協力における目的その1 e.g. stakeholders' relationships established between EU city and JAPAN city (stronger international networks and links in the municipality; stronger business contact of local industries); learn good practices and lessons from international society (e.g. promotion of smart cities; sustainable urban mobility; enhanced social inclusion; energy efficiency, etc.)</p> <p>たとえば、EU都市と日本都市の間におけるステークホルダー同士の関係強化（国際的なネットワークとのつながりを市内部に構築する、互いの地域産業・企業間のコンタクトを強める、優れた取り組み（グッドプラクティス）や経験を国際社会から学ぶ（スマートシティの推進、持続可能な都市交通、社会的包摂の取り組み強、省エネルギーなど））</p> <p>包摂的な持続可能な経済発展のため、それぞれの都市の持つ資源を活用して「体験の場」を創出する～生駒とアンコーナ、それぞれのまちの資源を活用した地域愛の醸成と両市の魅力の発信</p>
<p>Contribution to SDGs SDGへの貢献</p>	<p>From SDGs relevant to IUC, please select those your activities are contributing to IUCに関連したSDGの目標のうち、本活動に深く関係するものを選んでください。</p> <p>4 Quality Education 7 Affordable and Clean Energy 11 Sustainable Cities and Communities 13 Climate Action 15 Life on Land 17 Partnerships for the Goals</p>
<p>Description: 説明</p>	<p>Shortly describe what do you mean by this objective and summarise the main activities. 目標その1の意義を簡潔に述べた上で、活動内容をやや詳しくまとめてください。 e.g. exchange information about good practices on smart city development measures and develop mutual learning through a series of activities (e.g. study tours, workshops, joint research and policy roundtables).</p>

	<p>たとえば、スマートシティを目指した取り組みに関するグッドプラクティスの情報交換を行い、スタディツアー、ワークショップ、共同研究、政策討議（ラウンドテーブル）などを通じて相互学習を深める。</p> <p>アンコーナ市、生駒市とも豊かな自然、文化、歴史的な資産を有しているまちである。両市は、このようなまちの資産を活用し、住民や観光客をはじめとする市外に住む人々にまちの「魅力」を増進するための「体験の場」を作り出すことが有用であるということに（本プロジェクトを通じた）気づいた。また、地域の資源の活用にあたっては、環境、エネルギー、気候変動に関する関心事を十分に考慮すべきである。</p> <p>この認識に基づき、以下の活動が提案されている。</p> <p><生駒市> 歴史という財産をまちづくりに活かしていたアンコーナ市を参考に、生駒市の持つ自然、歴史、文化などの資源を活用した体験の場を創出し、まちの魅力向上をめざす。</p> <p><アンコーナ市> 都市の資源を活用し、魅力を推進していく事で、アンコーナ市の住民の地元愛を情勢するため、体験の場を創出する。その際、生駒市のステークホルダー参加のアプローチから学んだものを活用する。</p>
<p>Expected Result: 期待される成果</p>	<p><i>What is the change you intend to achieve by working on this objective? 目的その1に関する活動によって、どのような変化(成果)を期待していますか?</i> <i>e.g. participating cities have stronger and more effective institutional and technological policy strategies in place.</i> たとえば、協力に参加することによって、制度面、技術面でより効果的な政策や戦略を自分のものに出来る。</p> <p><生駒市> 体験をとおして生駒市の魅力を再認識することで、シビックプライドが向上し、まちを大切に思う人が増えるとともに、魅力を発信することで転入者増につながる。</p> <p><アンコーナ市> アンコーナ市住民の地域の可能性（ポテンシャル）に関する意識を高めると共に、アンコーナが体験の場として、国内外で、より知られるようになる。</p>
<p>Result indicator: 成果指標</p>	<p><i>e.g. number of seminars and participants, visits of experts, reports disseminated on the IUC Knowledge Sharing Platform (which is being developed by IUC Secretariat), number of business-to-business</i></p>

	<p><i>contacts at exchange meetings, number of cities participating in the carbon neutrality programme</i></p> <p>たとえば、セミナーの開催回数・参加者数、専門家の交流回数・人数、現在構築中のIUC情報交流プラットフォームへのレポートの数、交流会における企業同士のコンタクト数、カーボンニュートラルプログラムへの参加都市数</p> <p><生駒市> 定住の推奨意欲を持つ人の割合</p> <p><アンコーナ市> ワーキンググループの設置 メディアにアンコーナが観光地として掲載された数 セミナーやイベントの開催数</p>
<p>Target groups: 対象グループ</p>	<p><i>e.g., business companies, citizen groups, research institutes, universities</i></p> <p>民間企業、市民グループ、研究機関、大学など</p> <p><生駒市> 市民全体。特に、子育て世代や次世代を担う学生等をターゲットとする。</p> <p><アンコーナ市> 市民、観光事業者、公務員、政治家、メディア、学术界、大使館、外事事務局</p>

<p>Specific Objective nº2: 目的その2</p>	<p><i>Name the second objective for your cities' participation in the IUC program. 目的その2</i></p> <p>持続可能なツーリズムと経済の共同イニシアティブ アンコーナ市、アドリア・イオニア都市フォーラム参加都市と生駒市の連携強化によるまちの活性化</p>
<p>Contribution to SDGs</p>	<p>4 Quality Education 8 Decent Work and Economic Growth 11 Sustainable Cities and Communities 17 Partnerships for the Goals</p>
<p>Description:</p>	<p>生駒市・アンコーナ市ならではの体験ができる滞在型ツーリズムを推進することで、両都市間の継続的な連携強化を図る。</p>
<p>Expected Result:</p>	<p>海外からの来客の増加 観光産業の振興によるまちの活性化</p>

Result indicator:	海外からの旅行者の宿泊数
Target groups:	<p><生駒市> アドリア・イオニア都市フォーラム (Forum of Adriatic and Ionian Cities) 参加都市</p> <p><アンコーナ市> 市民だけではなく、観光業者、公務員、政治家、学术界、外事 事務局</p>

4. PLANNED ACTIVITIES 活動計画

Explain how your pairing, **two cities jointly or each city individually**, will reach your specified objectives and obtain the expected results. Please write as many activities as you need to reach each specific objective.

Some specific objectives might work as a pilot project composed of several activities.

上に記した目的を達成し、期待された成果を得るために、貴都市と相手都市のペアが、両者共同であるいは各都市別々に、何をどのように実施するかを説明して下さい。それぞれの目的ごとに、それを達成するための活動を出るだけ多く記載して下さい。

目的によっては、複数の活動のセットで構成されたパイロットプロジェクトの実施するのが有効かも知れません。（もしそのようなパイロットプロジェクトの企画があれば、記載して下さい）。**The two cities share the common objectives, but activities can be implemented jointly by two cities, or individually by each city.** 活動計画については、両都市が合同で行う活動、それぞれが別々に行う活動のいずれでも構いませんが、その違いが分かるように記載して下さい。ただし、上位の具体的目的については、両者共通との理解です。

Specific Objective 1: 目的その1	<p><i>Please repeat the first objective specified in "3. SPECIFIC OBJECTIVE"</i> <i>「3. 活動目的」の目的その1を再掲してください。</i></p> <p>包摂的な持続可能な経済発展のため、それぞれの都市の持つ資源を活用して「体験の場」を創出する～生駒とアンコーナ、それぞれのまちの資源を活用した地域愛の醸成と両市の魅力の発信</p>
1.1 Activity Name:	<p><i>Short name of the activity to achieve the specific objective 1</i> <i>目的その1を達成するための活動の名称を記載して下さい。</i></p> <p>まちの歴史・文化・自然を活かした体験の場の創出</p>
Activity proponent 活動推進母体	<p><i>Please specify the city department, agency or institution which will implement the activity. この活動を推進する市役所内の部局、外郭団体、その他の組織名を記載して下さい。</i></p> <p><i>EU City: EU側</i></p> <p><i>JAPAN City: 日本側</i> 生駒市地域活力創生部、市民団体</p>
Activity leader: 活動リーダー	<p><i>Please nominate the person(s) to lead the activity 活動をリードする人を指名して下さい。</i></p> <p><i>EU City: EU側氏名</i></p> <p><i>JAPAN City: 日本側氏名</i></p>
Brief Description:	

Describe the activity and try to show the relation to the specific objective and the expected result 目的及び期待される成果との関係がよく分かるように、活動内容を説明して下さい。

Please list the sub-activities with their brief description, if the activity is composed of multiple set of activities.

もし活動が複数のサブ活動で構成される場合には、それらをリストアップして、それぞれの簡潔な説明をつけて下さい。

アンコーナ市は2400年という歴史を持つまちであるが、その長い歴史について子どもから大人までわかりやすく学ぶことができる市立博物館を設置するなど、市民に愛されるまちになるよう、まちが持つ財産をうまく活用されていた。

生駒市では、持続可能な未来を築くことを目標とした環境基本計画を2019年に策定したが、その中で、本市の財産と言える豊かな自然を身近に感じることができるイベントの実施や、本市で古くから受け継がれている伝統行事を活かし、市内外の人が生駒ならではの体験をシェアできる機会を、市民と協働でつくることを計画している。

アンコーナ市の事例を参考にしながら、環境基本計画と連携してまちの持つ資源を活用した体験の場を創出することにより、市民にまちの魅力を再認識してもらい、多くの人から愛されるまちづくりを目指す。

アンコーナもまた、Parco del Coneroの手工芸品やアンコーナ特産の食品などのプロモーションを通じて、アンコーナ市における「体験の場」の創出に関する戦略をワーキンググループを設置して検討する。目的2にも関連する事項として、オメロ美術館にインスパイアされた文化的なイニシアティブを、日本で展開する可能性を検討する。ワーキンググループには、美術館の専門家、外事事務局、学术界、観光セクターとともに、共同ワーキングプランを策定する。体験の場検討にあたっては、環境、エネルギー、持続可能性に関する課題を考慮する。

その結果として、生駒市/アンコーナ市に住み続けたい、転入したいと思う人が増えることで、持続可能なまちづくりにつながる。

Outputs Expected (with quantitative indicators, if possible):

成果（もし可能なら、成果を示す定量的な指標）

Tangible product or process that results from the successful completion of the activity

活動が予定どおりに（成功裡に）完了した場合に得られる具体的成果物や施策の進行（たとえば、出版物やガイドラインが作成できている、施策が進行してある高いレベルにまで到達できている（市役所内で施策がまとまる、市民参加が強化される、企業による技術導入が進む）等）

<アンコーナ市>

コネロ公園やその地元の手工芸品、アンコーナ地域の食などの地域資源を生かした「体験の場」の創出
オメロ美術館に関するFSの立ち上げ

<生駒市>

- ・体験の場が実現できている。
- ・市民と行政との協力体制ができている。

<p>Specific Timeframe: (目標年月次)</p>	<p><i>Period of implementation. 実施期間</i> <i>Please specify the timeframe appropriate for the specific objective and activities. For example, three years after the plan is published.</i> 掲げた目的、活動に関する適切な目標年月次を決めて下さい。 たとえば、プラン作成後の3年間</p> <p><生駒市>2020年</p>
<p>Estimated Budget, and budget sources if applicable: 必要予算</p>	<p><i>Total estimated budget to be drafted in consultation with your counterpart in case of activities to be implemented jointly.</i></p> <p><i>Please demonstrate an estimate of the budget to implement the activity for reaching the specified objectives. Please indicate possible budget sources, if applicable. 目的達成と活動実施のために必要な予算の見積もりを示して下さい。もし、予算の出所について見通しがある場合には、それを記載して下さい。</i></p> <p><生駒市>未定</p>
<p>EU Stakeholder(s) EU側関係機関</p>	<p>Description & main role and responsibilities 関係機関・組織・部局等をリストアップし、それぞれの役割を記載して下さい。</p>
<p>アンコーナ市</p>	<p>(記載要)</p>
<p>オメロ美術館</p>	<p>ワーキンググループメンバー、FS支援</p>
<p>社会・ボランティア協会</p>	<p>同上</p>
<p>文化・観光業者</p>	<p>同上</p>
<p>JAPAN Stakeholder(s) 日本側関係機関</p>	<p>Description & main role and responsibilities 関係機関・組織・部局等をリストアップし、それぞれの役割を記載して下さい。</p>
<p>生駒市環境モデル都市推進課</p>	<p>体験の場の検討、実施主体との連絡・調整</p>
<p>関係課</p>	<p>体験の場の企画・実施</p>
<p>市民・市民団体</p>	<p>体験の場の企画・実施</p>

*Copy and paste activities' table for each activity description & objective

Specific Objective 2:	<p><i>The first objective named in “3. SPECIFIC OBJECTIVE”</i></p> <p><i>目的その2</i></p> <p>持続可能なツーリズムと経済の共同イニシアティブ アンコーナ市、アドリア・イオニア都市フォーラム参加都市と 生駒市の連携強化によるまちの活性化</p>
2.1. Activity Name:	<p><i>Short name of the activity to achieve the specific objective 2</i></p> <p>スローツーリズムのための共同戦略の実施</p>
Activity proponent	<p><i>EU City:</i> アンコーナ市、アドリア海およびイオニア海沿岸都市フォーラム参加都市</p> <p><i>JAPAN City:</i> 生駒市環境モデル都市推進課、商工観光課</p>
Activity leader:	<p><i>EU City:</i></p> <p><i>JAPAN City:</i></p>
Brief Description:	
<p>Describe the content of activities.</p> <p><i>Please list the sub-activities with their brief description, if the activity is composed of multiple activities.</i></p> <p>ツーリズムの実施で海外（日本またはイタリア以外）からの訪問者が増えることにより、特に観光分野などで市の活性化を図ることができるとともに、訪問者からの意見、感想を聞くことで改めて自分たちのまち（生駒/アンコーナ）の良い所に気づくことができる。</p> <p>また、海外からも注目される都市であるということ、その取組に自らが携わっているということはシビックプライドとなり、持続可能なまちという観点でキーとなると考えられる地域愛の醸成にもつなげることができる。</p> <p>観光が、引き続き知識交流する共通の関心分野であることに鑑み、</p> <p>生駒市は、「Specific Objective 1」で実施する体験の場や、スタディツアーで好評をいただいた高山地区、その他市内の観光資源を活用した滞在型ツーリズムを実施し、IUCプロジェクトのネットワークを活用してアンコーナ市やアドリア・イオニア都市フォーラム参加都市などを核としつつ、広く海外の都市へ周知する。</p> <p>ツーリズムは、市が観光協会会員や旅館組合に加入する事業者、関心を持つ市民などに呼びかけて検討を開始し、実施にあたっては市民や事業者が中心となる。</p> <p>共同のワーキンググループをアンコーナと生駒の間で設置し、知識交流をさらに図る。ワーキンググループは、生駒におけるアンコーナの、アンコーナにおける生駒のプロモーションするための共通の観光戦略を検討する。生駒における高山地区の竹林や特産品、伝統、アンコーナにおける Conero 自然地区とその特産品、伝統といった地域資産を（両市が）シナジーを持ってプロモーションすることも検討事項に含まれる。</p>	

Outputs Expected (with quantitative indicators, if possible):	<アンコーナ市（生駒市）> ・ 共同のワーキンググループの設置 ・ 共通の観光戦略（双方合意できれば） <生駒市> ・ 生駒市に滞在する訪日外国人が増えている ・ まちの経済が活性化している ・ 市民が生駒市の良さを再認識している
Specific Timeframe:	2021 年
Estimated Total Budget, if applicable:	未定
EU Stakeholder(s) Description & main role and responsibilities	
アンコーナ市	市民へのツーリズムのPR
F A I C	市民へのツーリズムのPR
Polytecynic 大学、Conero 国立公園、マルケ州商工会議所	ワーキンググループメンバー
JAPAN Stakeholder(s) Description & main role and responsibilities	
生駒市環境モデル都市推進課	滞在型ツーリズムの検討、関係機関との連絡・調整
生駒市商工観光課	滞在型ツーリズムの検討、関係機関との連絡・調整
市民・市民団体	滞在型ツーリズムの実施

5. CALENDAR OF KEY EVENTS AND MILESTONES

主なイベントと途中経過のスケジュール

Please add your **key events** and milestones for the whole period of the cooperation including the date that the MoU was signed, the planned date for the first draft of the U-CAP to be completed, the dates for Learning Exchanges *directly in table provided in the U-CAP template*.

覚書が調印された日、U-CAP の最初の草案が完成する予定の日、交換留学の予定日を含む、協力の全期間における重要な出来事とマイルストーンを下記の表に追加してください。

<i>Month/Year</i>	<i>Events / Milestones</i>	<i>Comments</i>
<i>Nov 2017</i>	<i>Kick off of cooperation</i>	第1回参加都市会議（ブリュッセル）
<i>Apr 2018</i>		生駒市でのスタディツアー
<i>Apr 2018</i>		日本とEU都市との交流会合（東京）
<i>Oct 2018</i>		アンコーナ市でのスタディツアー
<i>Oct 2018</i>	<i>Date of Partnership Agreement signing</i>	協力合意文書にサイン
<i>Apr 2019</i>	<i>Planned date for the first draft of Action Plan to be completed</i>	アクションプランの策定
<i>May 2019</i>		アクションプラン策定報告（生駒市・東京）
<i>2020</i>		まちの資源を活用した体験の場の創出
<i>2019 ~2020</i>		体験型ツーリズムの企画・検討
<i>2020</i>		体験型ツーリズムについてEU都市への情報提供
<i>2021</i>		体験型ツーリズムの実施

6. KEY LEARNING AND CHALLENGES

協力を通じて学んだことと課題

This section is for each city to describe in detail the key learning that your city has had over the course of your participation in the IUC City-to-City programme. 各都市がこの協力活動を通じて学んだことを詳しくに記載して下さい。

EU City:	EU都市
<p><i>Describe the key learnings from the IUC program considering your initial expectations. Narrative text (up to 500 words). Describe what your city has learned from your partner city (e.g. good practices and lessons) and any innovative ideas, insights or inspirations your city has acquired through the IUC city-to-city cooperation.</i></p> <p>環境、社会課題は、グローバルなものである。 成熟した経済状況にある都市は、環境、廃棄物、エネルギー、高齢化、移民の流入などに関して共通の課題を有している。アンコーナと生駒も地理的には離れているが、都市に特有の問題、人口トレンドなどの共通した課題を抱えている。このような課題に、異なった文化的背景のもとで、異なるアプローチで取り組んでいることを学んだことは実りある豊かな経験であった。</p> <p>生駒市は、近代的で効率的な都市であり、市民のエンパワメントを目的として、社会のいろいろな層が都市管理—特に廃棄物管理、環境・社会の課題に深く参加していた。</p> <p>アンコーナも同様のイニシアティブを有しているが、生駒から多くを学び、現在進行中の都市・社会再生に関する活動やプロジェクトに学んだことを統合していく。例えば、生駒市が市民の異なった声をきくために取っていた効果的なアプローチは、ボランティア団体などを活性化させることができるように見受けた。</p> <p>持続可能な経済・観光イニシアティブは、もう一つの協力分野である、経済だけではなく、特に文化・自然の遺産・観光資源を互いに見ることで、さらにそれらを活かす必要があることに気づかされた。</p> <p>両市は、制度、文化、人材交流からより多くを学び、また将来的にも学ぶことができる。アンコーナは、この経験交流を、より国際的な（日本に向けた）、環境に考慮したターゲットを持つ観光業の機会を開くために活用できる。他方、生駒市はアンコーナからどうやって、（地元の人には）あって当たり前と思っているが、観光客の視点からは価値のあるような（生駒市が持つ）自然・文化資産の価値を（改めて）定め、持続的に開発していくかを学ぶことができる。</p>	
JAPAN City:	日本都市

Describe the key learnings from the IUC program considering your initial expectations. Narrative text (up to 500 words). Describe what your city has learned from your partner city (e.g. good practices and lessons) and any innovative ideas, insights or inspirations your city has acquired through the IUC city-to-city cooperation.

IUCプログラムによって得られた重要な知見を記載して下さい。当初の期待に比べてどうだったかも書いて下さい。協力相手となったEU都市から具体的に学んだこと（グッドプラクティス、成功や失敗の経験）、IUCに参加して得られた革新的なアイデアやインスピレーションがあれば、書いて下さい。

生駒市では、当初、ヨーロッパ都市の進んだエネルギー政策やドイツのシュタットバルケについて学ぶことを目的とし、本事業へ申し込みを行った。エネルギー政策については、モビリティマネジメントや温暖化への適応策などに早くから取り組み、州やEUでも参考にされているアンコーナ市の事例について一定学ぶことができたが、それよりも、事業の結果としては、アンコーナ市が、すべての人がまちの魅力を実感し住みやすいと感じるまち、幸せに暮らせるまちづくりを進めていることが最も印象的であった。これはまさしくSDGsの考え方が反映されているものである。

魅力あるまちづくりという点では、特に「歴史」という市の財産をうまく活用して、シックプライドの醸成につながっているところは大変参考になった。

これからのまちづくりを考える上では、新しい視点で、新しいものを取り入れる必要があるが、古くから伝わる文化、伝統、建築物などは、手に入れがたい貴重なものである。

アンコーナ市でも地域住民の生活の質を向上させるため、治安の悪いエリアの再開発を実施していたが、再開発と言えば、古い建物を取り壊し、新しい建物を建ててまちを更新することが一般的であるが、アンコーナ市は既存ストックを最大限に活用し魅力の更新を図っていた。

本市もアンコーナ市と同様に古くからの歴史・文化があるため、このようなまちづくりの手法は、良い事例としてぜひ取り入れたい。

また、生駒市もアンコーナ市も高齢化が進み収入が減少するという類似の状況の中で、アンコーナ市が国や民間からの補助をうまく活用し、施策に必要な資金を調達している点も学べるものがあった。

以上のほかにも、本協力事業ではアンコーナ市から数々の貴重なことを学ぶことができた。これらのことを、今後、持続可能なまちづくりを進めるうえで積極的に活用したいと思う。

7. THE FUTURE: Sustainability of the cooperation process

今後の取り組み

This section is for each city to describe how your city plans to continue to cooperate with your counterpart(s) or other cities from the IUC programme. Please explain who will be involved and how their participation will be ensured. 協力相手となったEU都市、あるいはIUCに参加しているそれ以外の都市との協力を今後どのように継続していくかについての考えを記載して下さい。協力に参加することが期待される組織・部局・人をあげ、それらの協力参加を得るにはどうしたらよいかを述べて下さい。

EU City

Describe how your city is planning to continue the cooperation on sustainable urban development through pilot projects and processes and define who are the involved stakeholders to guarantee durability. Narrative text (suggested word count: up to 500 words). 貴都市においては、持続可能な都市開発に関する協力を継続するために、どのようなパイロット事業や施策を企画していますか。協力がしっかりと継続するためにはどのようなステークホルダーの参加が必要だと思いますか。1000字程度以内で、思いつくことを自由に記述してください。

IUCプログラムを通じて、両市が地理的、文化的、政治的な現実の違いを知り、互いに学びあい、都市に関する課題とその解決策に関して異なった視点から見るとともに、それぞれのコミュニティ（地域）に愛着を持つことができた。

プロジェクトの持続性は両市の共通の目的であり、中長期的には特定の活動の実施とアウトプットを出すためのワーキンググループを協力して設置することが保証される必要がある。また、これにより、両市の制度や政治的なプログラムの一部としていくことができる。

IUCプログラムのプロジェクトマネージャー兼 EUプログラム担当職員である Francesco Buoncampagni 及び市長室の Valeria Vescovo が生駒市とアンコーナ市の交流を継続を担当する職員である。

JAPAN City

Describe how your city is planning to continue the cooperation on sustainable urban development through pilot projects and processes and define who are the involved stakeholders to guarantee durability. Narrative text (suggested word count: up to 500 words). 貴都市においては、持続可能な都市開発に関する協力を継続するために、どのようなパイロット事業や施策を企画していますか。協力がしっかりと継続するためにはどのようなステークホルダーの参加が必要だと思いますか。1000字程度以内で、思いつくことを自由に記述してください。

本プランで計画している「滞在型ツーリズム」をもとに、アンコーナ市やアドリア海およびイオニア海沿岸都市フォーラム参加都市と今後も交流を継続したいと考えている。

交流事業を効果的にすすめるためには、行政だけではなく、観光関係を中心とした民間の参加が必要であるため、持続可能なまちづくりにつながる本プランの事業への理解を得た上で、積極的にかかわってもらうことが求められる。

「滞在型ツーリズム」を実施することによって、観光客が増加し、まちの活性化が図れるだけではなく、滞在された方からの率直な意見や感想を積極的に聴取し参考とすることにより、今後の魅力あるまちづくりへ大きな効果が見込まれる。

また、交流が発展し、生駒市からもアンコーナ市を訪問する人が増えれば、相互に観光面での効果が期待できるだけでなく、まちづくりに対する考え方や市民参画のあり方など、様々なことを学ぶことができる。中でも、特にオメロ美術館をはじめ、「すべての人が暮らしやすいまち」という社会的包摂に関する分野でアンコーナ市は取組が進んでいるため、行政、市民とも学ぶことが多いと思われる。

以上のように、観光・福祉・まちづくり部門の職員・団体をはじめ幅広いステークホルダーの参加により連携を図りながら多くのことを学び、互いの都市の持続可能なまちづくりにつなげたいと考えている。